



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月5日

上場会社名 株式会社 エヌアイデイ 上場取引所 東  
 コード番号 2349 URL <https://www.nid.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小森 俊太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレートデザイン (氏名) 小菅 宏 TEL 03 (6221) 6811  
 本部長兼経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	8,570	△0.8	945	22.9	1,094	16.8	720	15.7
2021年3月期第2四半期	8,637	0.7	769	3.9	936	10.3	622	10.1

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 726百万円 (△5.3%) 2021年3月期第2四半期 766百万円 (△10.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	63.78	—
2021年3月期第2四半期	54.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	20,652	15,287	74.0	1,376.52
2021年3月期	20,675	15,171	73.4	1,336.00

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 15,287百万円 2021年3月期 15,171百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	22.00	22.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	0.7	1,600	△14.4	1,733	△18.9	1,202	△11.8	105.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	13,109,490株	2021年3月期	13,109,490株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	2,003,759株	2021年3月期	1,753,759株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	11,295,621株	2021年3月期2Q	11,355,731株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、一部では経済活動の再開や持ち直しの動きも見られました。しかしながら、緊急事態宣言の発出や変異ウイルスの拡大懸念等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部でIT投資の先送りなどの動きが見られたものの、リモートワーク環境の整備や業務プロセスの電子化等への関心の高まりから、IT投資需要は底堅く推移しております。

このような環境の下、当社グループでは、リモート環境を活用した遠隔での開発業務の実施、時差通勤・在宅勤務の実施、出張や会議の削減等により、全役員及び社員が感染拡大防止に努めつつ、事業活動を継続してまいりました。また、コロナ禍の受注減を最小限に抑制しつつも、感染収束後を見据え、新たな市場ニーズに対応すべく取り組んでおります。

このような取組みの結果、第2四半期連結累計期間の経営成績は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部顧客の受注が減少し、減収となったものの、営業利益は、システム開発事業の売上が増加したことに加え、原価低減の取り組み等もあり増加しました。その結果、売上高は8,570百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益は945百万円（同22.9%増）、経常利益は1,094百万円（同16.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は720百万円（同15.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①システム開発事業

金融、情報・通信等の分野の売上が増加したことにより、売上高は5,696百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。利益面では、売上が増加したことに加え、生産性の改善、開発経費の抑制に努めたこと等により、営業利益は761百万円（同58.6%増）となりました。

#### ②システムマネジメント事業

運輸・通信、金融・保険等の分野の売上・利益が減少したことにより、売上高は2,168百万円（同13.3%減）、営業利益は119百万円（同50.8%減）となりました。

#### ③その他

その他には、データソリューション事業、プロダクト事業、人材派遣事業を分類しております。

このうち、データソリューション事業、プロダクト事業の売上・利益が増加したことにより、売上高は705百万円（同5.3%増）、営業利益は60百万円（同46.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品の増加、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ51百万円減少し14,400百万円となりました。固定資産は投資有価証券の増加、有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ28百万円増加し6,251百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、20,652百万円となりました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、未払法人税等の増加、未払金及びその他の減少等により、前連結会計年度末に比べ88百万円減少し2,408百万円となりました。固定負債は役員退職慰労引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ50百万円減少し2,956百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ139百万円減少し、5,365百万円となりました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の増加、自己株式の増加による減少等により、前連結会計年度末に比べ116百万円増加し15,287百万円となりました。

この結果、自己資本比率は74.0%（前連結会計年度末は73.4%）となりました。

## &lt;キャッシュ・フローの状況&gt;

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ168百万円増加し、11,237百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は870百万円（前年同四半期比509百万円の収入減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,094百万円、売上債権の減少額360百万円等で資金が増加したことに対し、法人税等の支払額333百万円等で資金が減少したことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は89百万円（前年同四半期は272百万円の収入）となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入189百万円等で資金が増加したことに対し、投資有価証券の取得による支出273百万円等で資金を支出したことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は612百万円（前年同四半期比361百万円の支出増）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出360百万円、配当金の支払額249百万円等で資金を支出したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,131,189	11,300,433
受取手形及び売掛金	3,045,401	2,684,609
仕掛品	115,604	293,871
その他	160,395	122,017
流動資産合計	14,452,591	14,400,931
固定資産		
有形固定資産	384,906	346,739
無形固定資産	187,375	176,404
投資その他の資産		
投資有価証券	4,378,732	4,473,076
繰延税金資産	821,323	817,161
差入保証金	326,597	345,626
その他	124,092	92,683
投資その他の資産合計	5,650,745	5,728,548
固定資産合計	6,223,028	6,251,692
資産合計	20,675,620	20,652,623
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	380,833	379,643
未払金	307,877	253,828
未払法人税等	347,182	390,547
賞与引当金	936,336	940,380
その他	525,180	444,431
流動負債合計	2,497,408	2,408,830
固定負債		
退職給付に係る負債	2,421,329	2,427,913
役員退職慰労引当金	524,350	480,700
資産除去債務	47,478	47,881
その他	13,770	-
固定負債合計	3,006,927	2,956,495
負債合計	5,504,336	5,365,325
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	14,423,667	14,893,853
自己株式	△1,227,405	△1,587,655
株主資本合計	14,338,289	14,448,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	815,506	822,036
退職給付に係る調整累計額	17,487	17,035
その他の包括利益累計額合計	832,993	839,071
純資産合計	15,171,283	15,287,297
負債純資産合計	20,675,620	20,652,623

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	8,637,197	8,570,965
売上原価	6,879,075	6,563,273
売上総利益	1,758,122	2,007,692
販売費及び一般管理費	988,918	1,062,553
営業利益	769,203	945,138
営業外収益		
受取利息	4,710	5,055
受取配当金	81,194	135,803
投資有価証券売却益	33,173	-
投資事業組合運用益	22,112	-
助成金収入	27,286	13,421
その他	4,876	11,347
営業外収益合計	173,353	165,628
営業外費用		
支払利息	645	293
投資事業組合管理料	1,862	1,384
租税公課	2,855	5,805
支払手数料	302	3,685
保険解約損	-	5,337
その他	326	100
営業外費用合計	5,992	16,606
経常利益	936,564	1,094,159
特別利益		
固定資産売却益	346	90
特別利益合計	346	90
特別損失		
固定資産除却損	7,488	0
その他	1,388	-
特別損失合計	8,877	0
税金等調整前四半期純利益	928,033	1,094,250
法人税等	305,335	373,809
四半期純利益	622,697	720,440
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	622,697	720,440
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142,770	6,530
退職給付に係る調整額	1,417	△452
その他の包括利益合計	144,187	6,077
四半期包括利益	766,884	726,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	766,884	726,518
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	928,033	1,094,250
減価償却費	65,360	60,252
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	42,838	5,825
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15,075	△43,650
賞与引当金の増減額 (△は減少)	37,299	4,044
受取利息及び受取配当金	△85,904	△140,859
支払利息	645	293
投資有価証券売却損益 (△は益)	△33,173	-
固定資産売却損益 (△は益)	△346	△90
固定資産除却損	7,718	0
売上債権の増減額 (△は増加)	829,430	360,792
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△78,929	△178,115
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△25,131	36,432
仕入債務の増減額 (△は減少)	△71,826	△1,189
未払金の増減額 (△は減少)	357	△48,139
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△71,016	△130,883
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	86,945	42,030
その他	△22,880	1,136
小計	1,624,495	1,062,130
利息及び配当金の受取額	81,619	141,685
利息の支払額	△645	△293
法人税等の支払額	△325,850	△333,227
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,379,619	870,294
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1	-
定期預金の払戻による収入	54,000	-
投資有価証券の取得による支出	△299,927	△273,738
投資有価証券の売却及び償還による収入	555,459	189,000
有形固定資産の取得による支出	△30,846	△337
有形固定資産の売却による収入	346	90
無形固定資産の取得による支出	△33,706	△17,076
差入保証金の差入による支出	-	△19,029
差入保証金の回収による収入	5,345	-
投資事業組合からの分配による収入	25,468	-
その他	△3,707	31,381
投資活動によるキャッシュ・フロー	272,430	△89,709
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	360,000	-
短期借入金の返済による支出	△360,000	-
自己株式の取得による支出	△71	△360,250
配当金の支払額	△249,170	△249,250
その他	△1,865	△2,809
財務活動によるキャッシュ・フロー	△251,107	△612,309
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,400,942	168,274
現金及び現金同等物の期首残高	8,849,901	11,069,587
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,250,843	11,237,862

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

受託型のソフトウェア開発に関して、従来は、ソフトウェアの進捗部分について成果の確実性が認められる場合には、工事進行基準によっておりましたが、財又はサービスに対する支配が顧客に一定の期間にわたり移転する場合には、財又はサービスを顧客に移転する履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。履行義務の充足にかかる進捗度の測定は、期末日までに発生した開発原価が、予想される開発原価の合計に占める割合に基づいて行っております。なお、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い場合には、代替的な取り扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	システム開発事業	システムマネジメント事業	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	5,465,952	2,500,908	670,336	8,637,197
セグメント間の内部売上高又は振替高	827,405	57,999	353,784	1,239,189
計	6,293,358	2,558,907	1,024,121	9,876,387
セグメント利益	480,037	243,256	41,562	764,855

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	764,855
セグメント間取引消去	3,288
全社費用(注)	△3
その他	1,063
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	769,203

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	システム開発 事業	システムマネ ジメント事業	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	5,696,939	2,168,383	705,642	8,570,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	838,045	97,442	348,846	1,284,334
計	6,534,984	2,265,825	1,054,489	9,855,299
セグメント利益	761,179	119,777	60,873	941,830

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	941,830
セグメント間取引消去	3,090
全社費用(注)	-
その他	217
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	945,138

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。